



戸畑中央小 No.17 R2. 1. 30

学校だより

発行者 校長 新森修二



3つの花を、大きくさかせましょう

学校給食週間の取組です。

1月24日(金)から30日(木)は、給食週間です。給食フェスティバルを開いてクイズなどを楽しんだり、給食ができるまでの動画を見たりしました。

給食に関する感謝のお手紙を書いている学年がありましたので、紹介します。

「いつも給食を作ってください、ありがとうございます。授業中、給食のいい匂いがしてきます。私は、毎日、給食の時間をとても楽しみにしています。」「私は、全部残さず、美味しく食べています。」

給食の時間をとても楽しみにしている児童が多いと思います。その理由の一つに、「楽しい」が挙げられると思います。友達と一緒にだからです。

先日、PTAの研修会で大学の先生のお話を聞きました。とても興味深かったので紹介させていただきます。

赤ちゃんにお乳を上げるとき、赤ちゃんの顔を見つめているのは人間だけだそうです。同様に、食事をするとき、お互いの顔を見たり、目を合わせたりしながら食べるのも、やはり人間だけだそうです。

確かに他の動物を思い浮かべてみると、お互いの顔を見ながら乳を飲ませたり、食べ物を食べたりしていません。餌を食べるときは、餌しか見ていないように見えます。

食事を作ってくれた人に感謝しながら食べられるのは、人間だけです。そして、食事をしながら相手の表情を見て思いやることを学んだり、会話を楽しんだりできるのも人間だけです。

この学校給食週間を機に、これからも給食や食事について考えていけたらと思っています。

薬物乱用防止教室がありました。

1月24日(金)に薬物乱用防止教室がありました。6年生が、学校薬剤師から薬についてのお話を伺いました。

薬は、病気や怪我を治す手助けをする役目がある一方で、正しい使い方をすることや量を守ることなどが大切です。

また、違法薬物については、意外と身近なところにある可能性があります。十分に気を付けなければなりません。

もし、違法薬物の使用を誘われたとしても、しっかりと断ったり、その場から逃げたりする方法で、自分を守ることが大切です。

児童の感想です。

「今日の話聞いて、薬物は本当に怖いと思いました。(略)薬物の1回の恐ろしさ、身近に潜んでいる魔の手や様々なことを知ることができて、大人になっても絶対に使わないと心に決めました。」

自分の身をきちんと守ろうとする心を持ち続けて欲しいと思います。

自殺予防教育が行われました。

1月28日(火)に6年生で、自殺予防教育が行われました。子ども達は、担任の先生やスクールカウンセラーの先生と一緒に「心が苦しくなったときにどうしたらよいのか」を考えました。

その中で、人から相談されたときは、「うなずきながら、ゆっくり聴く」「相手の気持ちになって温かく聴く」「意見やアドバイスより、聴いてくれることがうれしい」などのことを知りました。子どもたちは、聞き役と話し役に分かれて、実際に体験し、話を聞いてもらえることの心地よさを感じ取ったようです。

子どもたちは、「だれにでも苦しい時があると聞いて、改めてそうなんだと思いました。攻略法を知って、実践してみたいなと思いました。」「話の聴き方一つで、どれだけ気持ちが変わるかが、とてもよく分かりました。友達から話を聴くときは、ゆっくりちゃんと理解して聴いてあげられるようになりたいです。」と振り返っていました。

他にも「相談できる力」が大切なことも学びました。

これから先、もやもやする場面に出会うこともあると思います。そのようなときに、この学習が活かされることを願っています。